

No.09K 0008

2010年2月18日

株式会社 アイ・エス・レーティング

1. 格付結果

企業名	富士通株式会社
格付の種類	情報セキュリティ格付
格付IDコード	10000220112C0901
格付スコープ	館林システムセンター(*) (*)システム運用管理業務(システム環境構築、運用管理・運用監視 等)
格付対象	アウトソーシング事業本部ファシリティマネジメント統括部
想定リスク	情報漏えい
格付符号	AAA _{is} (トリプルA)
格付の方向性	新規格付
有効期間	2010年2月18日から2011年2月17日まで (交付日から1年間)

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001東京都港区虎ノ門3-7-10 ランディック虎ノ門ビル2階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2010 ISRating All rights reserved.

2. 格付理由

富士通株式会社(以下富士通社)は、ITを活用したビジネスソリューションをグローバルに提供するリーディングプロバイダーであり、通信システム、情報処理システムおよび電子デバイスの製造・販売ならびにこれらに関するサービスの提供を事業内容とする。グループの理念・指針として制定された「FUJITSU Way」に基づき、全社通じて情報セキュリティガバナンス体制を構築、社内規程を整備・遵守し適正な情報管理・活用を推進することにより情報セキュリティ強化を図っている。また富士通グループでは、幅広い産業・社会に対して多岐にわたるビジネス展開をしているため、ビジネス特性に応じた情報セキュリティ施策を推進できるようにビジネスグループ単位での情報セキュリティ管理体制を構築している。館林システムセンターは、その中でもソリューションビジネスグループに属し、「ソリューションビジネスグループ情報セキュリティ基本方針」に基づき高い意識を持ち、確実な情報管理を実践している。

館林システムセンターは、1995年に開設され、今般クラウドコンピューティングをはじめとする仮想化サービスの提供・SaaS環境構築のサポートなどの次世代サービスの提供拠点として最先端のセキュリティ技術を備えた新棟を新たに建設した。データセンターにおける位置づけとしては、処理規模・顧客数等、富士通データセンター内で最大であり最重要拠点となっている。センターにおける重要情報資産としては、ホスト・サーバ等の機器及びその格納情報、データ保管媒体、その他センター内で扱う各種帳票・書類等が主なものである。

情報セキュリティへの取り組みは、富士通社全社におけるプライバシーマーク取得のほか、ISO27001の取得、金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準に準拠するなどの第三者における評価を踏まえた積極的な取り組みを実施している。

マネジメント成熟度の観点から見れば、富士通グループの理念・指針である「FUJITSU Way」をもとにした情報セキュリティガバナンス体制を構築し、データセンターにおける情報セキュリティ規程類の整備、自社内でのマインド・モラル・スキル教育制度の確立とその継続的な運用、監査・自己点検・ネットワーク・物理的アクセス管理等では非常に高いレベルで管理が進められてきている。特にデータセンターにおけるデータ保管・お客さまの情報資産や個人情報保護のための物理的セキュリティゾーンの分類については多段階に設定されるなど、情報にアクセス可能な要員を限定し、情報の重要度に応じた管理体制が構築されている。現場におけるリスクアセスメントも定期的の実施され、モニタリングされている。

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2010 ISRating All rights reserved.

セキュリティ対策の強度の観点から見れば、データセンター内での入退アクセス管理（生体認証+RFID タグ、共連れ防止設備、金属探知機）、マシンルーム内でのサーバラック鍵管理システム、RFID タグを利用した人位置情報管理システムの導入による不正侵入防止システムの構築等、最新鋭設備を利用した高いレベルのセキュリティ対策が施されており、悪意のある外部者に対する管理策として非常に強固な対策がとられている。また、人位置情報管理システムや各種ログの取得等により、在館者であっても必要のないエリアには、侵入できないなど抑止的・発見的効果を発揮した管理策が取られており、悪意のある内部者に対しても高い対策がとられている。

総じて、マネジメント成熟度では、リスクアセスメントの実施から改善への継続的なプロセスを有し、常時高水準の管理状態を維持・発展させている。またセキュリティ対策強度では、さらなる強化を図る余地のある部分があるものの、総合的に判断し悪意のある外部者・内部者に対する管理策について講じられており、現時点で考えうる最高水準のレベルにあると評価できる。

以上